

第3部 諸地域世界の結合と変容

7 アジア諸地域世界の繁栄と成熟

1 明と清の繁栄 (教科書 P. 114~119)

① 漢民族王朝の復活 [p. 114]

[] (1368~1644年) 都: 南京

・ 紅巾の乱の指導者 [] が建国

・ 皇帝の権限を強化

→ { 中書省を廃止し, 官僚・軍隊を皇帝直属に
科挙を整備し, 新たに律令を制定

・ 農村の復興をはかる

→ { 徴税の徹底
土地台帳 ([])
租税台帳 ([])
民戸から徴税, 軍戸から徴兵
民戸は [], 軍戸は [] で支配
[] を定めて民衆を教化

② 対外政策と朝貢貿易 [p. 114]

・ クーデタで即位した [] は [] に遷都

〈永楽帝の政策〉

・ 対外的拡張をはかる

モンゴルへ親征

ベトナムを一時併合

海上交易を統制 ([])

[] の南海遠征

→ 多くの国が明に朝貢

東南アジアに渡る [] が増加

③ 外圧と明の滅亡 [p. 115]

・ [] により明は衰退

北虜 … [] や [] の侵入

→万里の長城の整備

南倭 … [] の密貿易や略奪行為

豊臣秀吉の朝鮮侵攻, 女真への対応とともに財政難をまねく

・宦官の政治介入・官僚の政権争いで混乱

[] の乱がおこり, 明は滅亡

④ [] の中国進出 [p. 115]

・女真の [] が [] (後金) を建国

→諸部族を統一し, [] を整備

・内モンゴル, 朝鮮を制圧し, 国号を [] に改める (1636年)

・李自成の乱討伐を名目に, 中国に侵入

→北京を占領して都とする

・ [] の時代に三藩の乱を鎮圧し, 台湾の鄭成功一族を滅ぼして中国全土を統一

・康熙帝はロシアと [] 条約を結び, 国境を確定

⑤ 中華帝国の完成 [p. 116]

・康熙帝, [], [] の3代130年余が清の盛期

・多元的な方法で遊牧・農耕両社会を統治する世界帝国

科挙など明の諸制度を継承し, 儒学を尊重

要職は満漢同数 ([])

[] は理藩院のもとで自治を認める

[], 言論統制で漢人をきびしく支配

⑥ 経済の発展 [p. 117]

・米作の中心は長江下流域から中流域へ

→「[]」

・商品作物 (サツマイモ・トウモロコシ) の栽培や [] (絹織物・綿織物) が

さかんになる

→農村に貨幣経済が浸透

⑦ 広がる銀の世界 [p.117]

- ・メキシコ銀や日本銀の流入で銀の流通が進展
→全国的に活動する大商人が出現
- ・商人や手工業者は [], [] を通じて利益をあげる
- ・銀経済の発展を受け、税制が変化
[] (16世紀後半から、地税と人頭税を一括で銀納)
[] (18世紀前半から、人頭税を定額化して地税に上乗せして銀納)

⑧ 伝統文化の復興と興隆 [p.118]

- ・伝統文化の復興
〈明代〉
朱子学の官学化
実践を重視する [] の創始([])
〈清代〉
[] (古典の実証的研究) がさかんになる
- ・大規模な編纂事業
明の『永楽大典』, 清の『四庫全書』など
- ・[] が発達
『本草綱目』, 『天工開物』など
- ・[] などの庶民文化の繁栄
明: 『水滸伝』 『三国志演義』 『西遊記』 『金瓶梅』
清: 『紅樓夢』 『儒林外史』
- ・イエズス会宣教師による西洋学術の紹介
→ [] らの活動
中国の風俗習慣を尊重した布教をローマ教皇が異端としたことから、
清は []